

令和4年度県における自殺対策の取組実績について

(1) ネットワークの構築

- ① 岩手県自殺対策推進協議会による官民一体となった自殺対策の推進【本庁】
- ② 知事をトップとする庁内連携組織「岩手県自殺総合対策本部」において、各部署と連携した県の取組を推進【本庁】〔7月25日：本部会議開催〕
- ③ 圏域ごとに地域自殺対策推進協議会、自殺対策実務者のネットワーク連絡会を開催し、関係機関・団体と連携した取組を推進【保健所】

(2) 一次予防（住民全体へのアプローチ）

ア 普及啓発

- ① 自殺防止月間等におけるマスメディアによる広報の実施【本庁】
「こころに寄り添い いのちを守る いわて」月間（岩手県自殺防止月間（9月）及び岩手県自殺対策強化月間（3月））を中心に、テレビ・ラジオ、新聞等による県民向けの集中的な広報による普及啓発を実施

【R4実績】

- テレビ・ラジオによる普及啓発
 - ・ テレビ CM の放送(150 本)、ラジオ CM の放送(100 本)
 - ・ 「いわて！わんこ広報室」で、こころの相談窓口の周知(9月)
- 新聞広告の掲載(岩手日報)(9月)
- 自殺防止対策特設 WEB サイト「こころに寄り添い いのちを守る いわて」の開設
- YouTube での動画広告掲載、Instagram・Twitterでのディスプレイ広告の掲載

【特設 WEB サイト】

誰かに相談したい方

心のセルフケアをしたい方

周りの人を守りたい方

悩みごとは一人で抱えずに相談してください

いのちまもるいわて 検索

- ② 県職員向け普及啓発【本庁】
 - ・ 職員向けゲートキーパー研修の実施（DVD放映）

- ③ 自殺対策の担い手育成を目的としたフォーラム（セミナー）の開催
 - ・ 県民を対象に、自殺対策の担い手（ゲートキーパーや傾聴ボランティア）の育成を目的としたフォーラム（セミナー）を開催
- ④ 窓口、イベント、事業所訪問等における普及啓発（パンフレット、ポケットティッシュの配布等）、こころの健康づくりや自殺予防対策に関する講演会の実施【保健所】
- ⑤ 若年層向け普及啓発
 - ・ 高校や大学等への相談窓口チラシ等配布【保健所】
 - ・ 自殺リスクの高い方から優先的に相談を受け付けるための、SNS相談専用窓口カードの配布先の拡充（小学校を追加）【本庁】
- ⑥ いわてアスリートクラブ（いわてグルージャ盛岡）との連携協定締結による、ホームゲームでの自殺予防啓発活動【本庁】
- ⑦ こころのセルフケア動画（16編）のSNS配信【本庁】

イ 人材養成

- ① 自殺予防の担い手人材の養成
 - ・ ゲートキーパーの養成研修、傾聴ボランティアのスキルアップ研修等の実施【保健所】
 - ・ ゲートキーパー指導者を対象とした養成セミナーの開催【本庁】
 - ・ 自殺対策に携わる支援関係者を対象に、必要な知識、対応方法等を学び、包括的な支援の仕組みを構築できる人材を養成（「自殺対策企画担当者研修」等）【精神保健福祉センター】
 - ・ 職域団体向けゲートキーパー養成研修の実施【本庁】
- ② 地域ケア検討会
 - ・ 事例を通し、支援担当者の相談技術等の向上、地域のネットワークの強化を図るための研修を実施【精神保健福祉センター】

【参考】R4実績

- ・ 自殺予防の担い手研修の開催:33回開催、受講者延べ1,114人【保健所】
- ・ 自殺対策企画指導者養成研修:1回開催、受講者83人【精神保健福祉センター】
- ・ 職域団体向けゲートキーパー養成:1回開催、27人
- ・ 地域ケア検討会:14回開催、参加者延べ511人【精神保健福祉センター】

(3) 二次予防（ハイリスク者へのアプローチ）

ア 相談支援

- 相談窓口を設置し、対面相談及び電話相談を実施するほか、SNS等相談（国の補助事業）との連携
 - ・ 「こころの相談電話」での相談受付【精神保健福祉センター】

【参考】

- ・ 平成 28 年 6 月から「こころの相談電話」の受付時間を 21 時まで延長していたが、令和 3 年 2 月から全国共通「こころの健康相談統一ダイヤル」を活用することにより、平日 22 時までの受付に延長
- ・ 相談体制の充実を図るため、令和 2 年度から電話相談員を増員
- ・ 令和 3 年度から「こころの相談電話」の回線増設

相談実績（県精神保健福祉センター）

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
電話相談件数	9,047 件	8,019 件	7,640 件
自殺関連相談件数(電話+来所)	516 件	694 件	633 件

- ・ こころの健康相談の実施【保健所】
- ・ SNS 等相談（国の補助事業実施機関）と全国初の自治体連携協定を締結し、本県出身者の相談に対応

イ 自殺未遂者支援

- 医療機関と地域の保健福祉関係者によるネットワーク体制の構築
 - ・ 二戸地域自殺未遂者支援事業の実施【精神保健福祉センター】
 - ・ 圏域での自殺未遂者支援検討会、ケア会議、研修会等の実施【保健所、精神保健福祉センター】

(4) 三次予防（自死遺族へのアプローチ）

- ① 自死遺族交流会の開催、自死遺族に対するリーフレットの配布【保健所】
- ② 公開講座、自死遺族支援実務者連絡会の開催、自助グループへの運営支援【精神保健福祉センター】

(5) 精神疾患へのアプローチ

- ① 保健医療関係者を対象に、うつ病等への理解や精神科医との連携の促進を目的とした専門的な研修の実施【保健所】
- ② 多様な精神疾患に対応するため、保健医療関係者を対象とした専門研修を実施。【精神保健福祉センター、保健所】

【参考】 R 4 実績

- ・ 保健医療等関係者を対象とした研修会の実施:46 回開催、受講者延べ 1,696 人【精神保健センター、保健所】

(6) 職域へのアプローチ

- ① 働き盛り世代の自殺対策として、職場等でのメンタルヘルスの重要性についての啓発や相談窓口の周知等を目的とした事業所訪問及び出前講座等を継続して実施【保健所】

【参考】 R 4 実績

- ・ 事業所訪問:74 事業所・団体
- ・ 出前講座:44 回
- ・ 関係会議・研修会等での周知啓発:16 回

- ② 職域団体向けゲートキーパー養成研修の実施【本庁】(再掲)

被災地におけるリスクを抱えた住民に対する支援

- ① 岩手県こころのケアセンター等と連携し、被災者への相談支援や見守り支援等を継続して実施

【参考】

岩手県こころのケアセンター相談件数

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
相談件数	5,353 件	7,274 件	7,304 件

- ② 東日本大震災津波による被災者の心身のケアや生活再建先におけるコミュニティ形成支援等

相談支援体制の充実

- ① 悩みを抱えた方を確実に適切な相談支援につなげるため、「相談窓口一覧」(県ホームページで公開)、自殺予防特設 WEB サイト、「相談窓口情報」(各種相談機関へ配布)の更新・周知を適宜行い、各相談機関とのネットワーク強化による相談事業のワンストップ化の実施
- ② 複数の関係機関と連携したワンストップ相談会の開催【保健所】
- ③ 消費生活相談員による消費者トラブルへの相談対応、消費生活情報の提供、消費者教育の推進
- ④ 犯罪被害者等支援総合案内における相談窓口の教示や、性犯罪・性被害者支援「はまなすサポート」における相談対応による犯罪被害者等支援 など